

## 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

日 時 平成23年10月21日（金）18：00～20：00

場 所 宮前区役所4階 第3会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、大村委員、岡田委員、  
豊島委員、藤田委員、恒川副委員長（オブザーバー）

事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員  
阿部コンサルタント

### 1 本日の議論のポイントと今後のスケジュールの確認

- ・ 資料3今後のスケジュールを用いて説明

### 2 ワーキンググループからの報告について

- ・ 佐藤部会長より資料1（仮称）ウォーキングガイドブックのイメージを説明。

#### 1) 信号の掲載について

**山下** 信号は入れたほうがよいのではないかな。

**佐藤** 目黒区のマップは信号を入れていない。

**大村** 信号は入れなくてよい。入れると見づらくなる。

**藤田** これでも情報が過剰だと思う。

#### 2) ショートカットの表示について

**直本** ショートカットの位置を表示しているが、ショートカットを入れなくても地図を見ればどこでショートカットするか分かるのではないかな。

**佐藤** 初めて歩く人にとっては表示がないと分かりにくいのではないかな。岡田さんはどう思うかな。

**岡田** 邪魔にならないのであればあってもいいと思う。

**藤田** ショートカットを表示する意味はある。ここでショートカットしても、坂道制覇に影響がないということである。

**直本** 何のためにショートカットを表示するのか。坂道制覇のためにここから先をカットしても、他の取り組み（スタンプラリーなど）に関係ないということであれば意味があるが、そうでなければ歩く人の判断に任せたらどうか。

**藤田** ショートカットできるのは、宮前平駅周辺（本日の資料1に掲載）と野川の2ヶ所くらいである。

**佐藤** ショートカットの件はスタンプラリーと絡めて考える。

#### 3) 各種施設の表示について

**豊島** マンション名はいらないのではないかな。

**佐藤** 酒屋や病院は全て削除する。実際は限られた情報のみ掲載する。ここだけは掲載したほうがよいという情報はあるか。小学校や区役所など。

**直本** 公園、スーパー、コンビニエンスストア。

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

**佐藤** ワーキングでも議論があり、コンビニエンスストアはトイレを貸してもらえるので、社名を掲載するとまずいが、コンビニエンスストアということが分かる表示はしたい。スーパーは区の発行物でどう表示しているか。

**区** 宮前ガイドマップにコンビニエンスストアのマークは掲載しているが、スーパーのマークはなかったと思う。

**藤田** 歩く上ではスーパーを使うことはないのではないかな。

**直本** 大きい建物なので非常に目立つ。

**藤田** 目印になるのでいいのではないかな。

**恒川** スーパーはトイレもある。

**佐藤** 社名は載せないが、スーパーは表示する。それではスーパーとコンビニエンスストアを掲載する。あとはワーキングの方に任せてほしい。

**山下** 道標の欠けたものがあるが、掲載しなくてよいか。

**大村** 見にくいですが、目印になる。

**藤田** 道標は資料1の3枚目の⑥の写真がそれにあたる。

**山下** ここに載っているのであれば、地図の上で書かなくてもよい。

#### 4) バス停等の表示について

**恒川** バス停がそばにあるようなショートカットを考えた方がよい。

**佐藤** このコースに限ると、バス停が有効利用できない、バス停を掲載すると、掲載数が多くなる。

**恒川** 全部が全部載せる必要はない。ショートカットするところの必要なバス停だけ載せればいいのではないかな。

#### 5) 写真について

**直本** 同じ季節の写真だけが載っているが、特徴的な時期の写真を載せ、楽しめるとよい。

**佐藤** 実際に回ってきたときに撮影した写真なので、できあがるまでに写真は差し替えた。

**直本** 写真下のキャプションに春や秋といった季節に関する内容を入れられるとよい。

**山下** 目黒区の写真や活字は小さかった。

**藤田** 目黒のマップよりはそれぞれ大きくしている。

**豊島** 目黒区のマップは写真枠の形を変えたり、大きさが違ったりして、遊び心がある。

**藤田** 今日の資料1のコースは名称のついた坂道が5つあるコースとなっており、最多である。その他はあっても3つの坂道を紹介することになっていて、遊びの写真が増やせると思う。

#### 6) ウォーキングガイドに使用するキャラクターについて

**佐藤** イメージキャラクターはカッパーク鷺沼のかっちゃんを使っている。

**区** ふろん太くんだと市全体のキャラクター。横浜ウォーカーの横浜・川崎のゆるキ

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

キャラコレクションという企画で宮前区からはかっちゃんが紹介され、宮前区のキャラとして認知されつつある。

**佐藤** 区では30周年記念でキャラクターができるようだ。  
**区** 30周年記念キャラクターをつくる予定であるが、継続的に使用するキャラクターではない。

**直本** 継続的なことを考えれば、かっちゃんか。

**佐藤** みやまえぼ一たろうも侍のキャラクターがあったと思う。使えるのか。

**岡田** 使うことはできる。

#### 7) 坂道を表示する線の色について

**佐藤** 名称のついた坂道だけ色を変えているが、色が多すぎるという意見はあるか。  
**全委員** (意義なし)

#### 8) 表紙について

**佐藤** 表紙はあくまで案だが、富士山が見える写真(富士見坂ではなく、宮前区役所から土橋に下がる坂道で見える)はどこかに掲載したい。

**豊島** 夜景はどこの写真か。

**佐藤** 鷲沼北公園の写真であり、インターネットサイトから一時的に転載している。夜景の写真は掲載するのであれば、インターネットサイト管理者の許可が必要になる。

他2枚の写真は宮前区観光協会から転載している。こちらも許可が必要になる。フォトコンテストで良い写真があれば使いたい。夜景は夜ウォーキングする人がいるかもしれないので掲載している。

坂道名称の写真は自分で撮影した写真、みやまえぼ一たろうから一部持ってきている。

#### 8) ページ構成について

・佐藤部会長よりページ構成について説明。

##### (1) ウォーキングガイドの紹介文の作成について

**佐藤** ウォーキングガイドの紹介文は山下委員長にお願いすることでよいか。  
**全委員** (意義なし)

##### (2) 坂道ウォーキングの効果について

**佐藤** 坂道ウォーキングの効果については、宮前区に坂道や健康に詳しい著名人がいないので、ウォーキングガイドに掲載しないが、それで良いか。

**全委員** (意義なし)

##### (3) ウォーキングアドバイスについて

**佐藤** ウォーキングアドバイスについては、高齢者への参加や今後の健康教室等での

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

活用を考えると掲載したほうがよい。

豊島 保健福祉センターの方はどのページで協力をお願いするのか。

佐藤 坂道ウォーキングのすすめと坂道ウォーキングアドバイスの両方で協力を求める。

#### (4) 準備体操・整理体操について

佐藤 準備体操・整理体操は坂道で足首などを痛めることが考えられるため、掲載したいと考えている。掲載する、掲載しないという意見がそれぞれあったが、どうか。

直本 40 ページという限定があるので、後から追加する情報が出てきたら、ここでページ調整をしたらどうか。

#### (5) バス情報について

佐藤 路線バスを1ページに収めると、あまり親切な路線バス図にならない。

直本 いろんな路線バス図があるが、分かりにくい。ただ東急田園都市線の沿線が発発地点ならいいが、そうじゃないところはどこからどうやって出発地点にいけばいいか、ゴール地点からどうやって帰ればいいのか、平日・休日(土・日曜、祝日)の昼間にバスが1時間に何本出ているかという情報くらいは必要ではないか。

恒川 言うことはよく分かるが、例えば、清水台スタートの場合、宮前平からバスが出ていることを表示するくらいでいいのではないか。時刻表や路線図を見ても分からない。

直本 どこからバス便があり、時刻は要確認など記載したらどうか。各コース紹介の中に情報として入れてはどうか。

#### (6) 坂道データ集について

佐藤 坂道が18ヶ所だけなので、データ集と併せて、みやまえぼ一たろうの「坂道は続くよどこまでも」を紹介したいと思うが、よいか。

全委員 (意義なし)

#### (7) 編集後記について

佐藤 編集後記については、目黒区のマップでは1ページ使っているが、1ページ使う必要はなく、準備体操・整理体操と同じように後から追加する情報が出てきたら、ここでページ調整をする。

全委員 意義なし。

#### (8) スタンプラリーブックについて

佐藤 日常的な取り組みにつなげるため、ウォーキングガイドにスタンプラリーブックをつけることにより、坂道を回る人が増えると思うし、イベントにもつながると思う。シールについては、区役所やこども文化センターなどの行政施設に置かせてもらう。商店だと偏りが出してしまうので、まずは行政施設に置かせてもらい、

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

利用状況をみながら、今後につなげていきたい。

**直本** スンプラリーをどんな風にやっていくのかということがはっきりしないと、スンプラリーに関する情報をつけていいのか判断できない。例えば、スタンプを集めたらどこでどうするのか（景品の受け渡しなど）、期間の検討をせずにただつけるということにはならない。

**佐藤** 今回は事業提案制度を活用することになると思うので、どのような使われ方をするのかがはっきりしない。

**直本** 提案するための土台がないといけない。ただウォーキングガイドにつけるということだけでは意味がない。

**佐藤** スンプラリーは提案そのものに関わる内容なので、後ほど議論する提案素案の内容を踏まえながら考えたい。

**藤田** 期間は限定すればよいのではないか。5年も10年もずっと続けるということにはならないと思う。

**佐藤** 宮前ガイドブックは何年に1回改訂されているのか。

**区** 5年に1回である。

**直本** 交換する時期を限定すればいいのではないか。

**豊島** やるかやらないかをまずは決めてそれから考えていってはどうか。

**直本** 景品などはさまざまなバリエーションがあると面白い。おまけがついているといい。

**区** 景品をあげるとなると、本当に歩いたかどうかの確認が必要になるので、シールを貼るだけで十分ではないか。

**藤田** 一番大変なのはシールを出すところ。歩いたことの証明は制覇シールを貼るというだけでも良い。

**区** シールはウォーキングガイドに貼ってあるのではないか。

**藤田** そうは思っていない。そのあたりの仕掛けは考えないといけない。

**直本** 何かもらえるとなると、シールをたくさん持っていく参加者もいるかもしれない。

**藤田** 制覇シールくらいにしたほうがよいかもしれない。

**佐藤** 入れるか入れないかのいずれになるにせよ、スンプラリーで2ページ使うということではどうか。使い方は議論する。歩いたという満足感がないと使い勝手も違ってくると思う。

#### (9) ウォーキングガイドタイトルについて

**直本** 「宮前坂道ウォーク」としてはどうか。「生き活き宮前坂道」をその上に小さくいれてはどうか。

**藤田** そもそも「坂道を歩く」を入れるということは決まっていない。目黒区のマップのように、メインタイトルとサブタイトルがあるといい。メインタイトルを「宮前坂道ウォーク」とし、サブタイトルを「生き活き」としてはどうか。配置や文字の大きさはデザインの問題である。

**佐藤** メインタイトルを「宮前坂道ウォーク」とし、サブタイトルとして「生き活き」

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

を上配置する。

**恒川** スタンプリヤーが入るのであれば、「坂道スタンプリヤーブック」を入れたい。  
**藤田** 決まったら入れればいい。

#### 3 提案素案の検討

- ・ 事務局より資料2活力づくり部会提案素案（案）を説明。
- ・ 提案素案の修正については企画部会に一任する。

##### 1) 「提案1：宮前区の坂道を知ってもらおう！」について

###### (1) タイトルについて

**藤田** 「宮前坂道ウォーク」という仮称が決まったので修正する。

###### (2) ウォーキングガイド内容の追加

**区** ウォーキングガイドの中身が決まってきたので、「ウォーキングガイドの内容」に追加したほうがよいと思う。

###### (3) ウォーキングガイドのPRについて

**恒川** 「ウォーキングガイドのPR」に抵抗感がある。「イベントを積極的にPRする」としているが、日常的な情報発信という内容が消えていると思う。情報発信のひとつとして、駅やコンビニエンスストアなどに置いてもいいのではないか。

**大村** 目黒区のマップは書店で販売している。

**藤田** 無料で配布するのか、有料で販売するのか。その議論が欠けている。

**区** 区の売店で販売することはできる。基本的には無料ではないのか。

**直本** 無料にして、どれぐらいの部数が発行できるのか。

**区** 無料にしてしまって、何年か経ったら観光協会に権利を渡して、観光協会の事業としてもらうことも考えられる。

**藤田** 無料でつくって配布ではもったいないのではないか。区役所だけでなく、他の場所においてもらってもいいのではないか。

**佐藤** 目黒区に目黒区のマップを有料したことによる問題を聞いたところ、マップの情報（コースなど）をホームページで簡単に掲載できなくなってしまったと言っていた。ホームページでの積極的なPRができなくなっている。

**恒川** 有料・無料の話より、まずは情報をどう区民に伝えるかということを考えればいいのではないか。

**直本** 無償配布したら、すぐなくなる気がする。

**佐藤** 手渡しで配布したいが、駅で持っていかれるのはどうかと思ってしまう。

**藤田** スタンプリヤーのことを考えると、有料にしないといけないと思う。シールをつくったり、シールを渡したりする手間がある。

**佐藤** 行政によって判断が違うところだと思う。

**恒川** 区民にどう知ってもらおうかが大事。

**佐藤** みやまえぽ一たろうはどんな協力ができるイメージか。ページを増やすのは有料なのか。

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

- 岡田 なんでも協力できる。費用もかからない。
- 佐藤 恒川委員はPRの方法は著名人を使うだけでなく、他にもやり方があるのではないかと。藤田委員はスタンプラリーブックにするにはそれなりの料金が必要なのではないかと。PR方法はここに出している以外にあまり意見として出なかったと思う。地参知笑でも積極的に取り組んでもらうということか。
- 区 いろんなメディアを使うという中身は、ある程度地参知笑部会に託していいのではないか。
- 佐藤 「区内公共施設にガイドブックを置くのはもちろんのこと」とあるが、他にも起きたい場所があれば相談できるということか。公共施設にしか置かないということではないか。
- 区 そのとおり。
- 恒川 地参知笑部会では、毎年7000世帯の入れ替わりがあるので、転入者に宮前区で知ってもらうために冊子を差し上げようということを考えている。年間10000部程度つくる予定。そういうことも頭に入れながら、考えたい。
- 佐藤 mirutoは何万部配布しているのか。
- 区 宮前区は90000世帯程度あるので、それくらい配布しているのではないか。
- 佐藤 それだけの発行部数がありながら、活力づくり部会の記事が出ていても、周りの知り合いから少し声がかかる程度。ある程度発行しないと盛り上がりがないと思う。この内容のままで良いか。
- 区 例えば、フロントタウンに置きたいということであればお願いしに行くが、販売するとすると、販売契約を結ぶ必要があり、かなり大変。
- 直本 どこに置くかは今後検討してはどうか。

#### 2) 「提案2：坂道を使ったイベントをしよう！」について

- 佐藤 資料2・5ページの「実施内容」に日常的なウォーキングの契機にするという内容を入れてほしい。
- 大村 入れるとすると、「足腰を鍛えて」の次に「日常的な」を入れてはどうか。
- 直本 区民会議で提案として事業提案制度を説明するのはしっかりこない。このような制度があるということを事務局から説明してもらおうということにしてもらったほうがよい。
- 佐藤 この制度はこれまで2回使ったことがあり、よく知っている。
- 直本 説明できる人がいるのであれば、説明してもらったほうがよい。
- 佐藤 制度を使う上で注意してほしいのは、「イベントの企画や運営上の工夫で主催者が変わることでイベントのマンネリ化のスタッフの疲れを防ぐ」とあるので、提案制度も受けたいところがあれば、1ヶ所だけが年間2、3回やるのではなく、例えばスタンプラリーだけをやりたいところ、イベントだけやりたいところなどで間口を広くしてほしい。観光協会や体育協会など複数入れれば違う趣向でやってくれるはず。
- 区 宮前区観光協会にマップを渡せば、何か企画してくれると思う。体育指導委員会

### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

は「歩こう会」をやっているので、宮前区観光協会同様、自らの事業の中でやってくれるかもしれない。

**佐藤** 最終的には大きなイベントにしたいと思っているが、事業提案制度のための予算はどれくらいあるのか。

**区** 過去の実績では25万円位。あとはボランティアでがんばるしかない。

**佐藤** マラソンなどをやれば、それだけ予算がかかってくる。

**区** 事業提案制度も予算枠があるので、枠を超えるものはできない。枠を超えるもので、本当に良い提案であれば、翌年度に予算取りなどをすることになる。

**佐藤** 予算によっては、イメージしているウォーキングイベントやスタンプラリーとは違うものになってくるのではないかと不安に思っている。

**区** ZAMA 坂道マラソンは110万円程度で、そのうちTシャツ制作が50万円程度。そんなに予算が必要ではないと考えている。

**藤田** 事業提案制度はいいが、来年秋くらいにイベントをやる場合、この制度でも実施可能か。秋にできない制度を利用してもしようがない。

**区** 来年の秋にはやりたいと思っている。公募もしくは随時受付の方法があるが、それはともかく秋にはやりたい。

**佐藤** 募集時にPRしてほしい。ウォーキングガイドのPRにもなるし、これから区民会議としてウォーキング大会、スタンプラリーに力を入れたということのPRにもなるので、公募してほしい。

**山下** 事業提案制度はテーマを設定して募集はできるのか。

**区** 市政日よりなどで期限を区切って募集することはできる。

**佐藤** 秋のイベント実施に向けて公募してほしい。

**区** 事業提案制度を使うこと自体が目的ではない。入口は事業提案制度でもいいが、歩こう会など既存の団体や取り組みなどでの実施も有りうる。提案素案資料の事業提案制度に関する内容を見ると、制度を使わなければいけないという風に見えてしまうかもしれない。

**直本** 事業提案制度も活用できるという表現でいいのでないか。

**藤田** 「事業提案制度の流れ」はなくてもよい。口頭説明で良い。

**区** 事業の実現手法として事業提案制度があるという紹介にする。

**恒川** 資料2・6ページの「連携事業以外でも～」の文章を前に持ってきてはどうか。その後に事業提案制度の紹介ではないか。

**佐藤** 既存の団体にイベントをやってもらうことは区民会議の趣旨として合致している。修正は「連携事業以外でも～」の文章を前にし、図をなくする。また、「連携事業以外でも、既存の」の後に「団体の」を入れてほしい。

**佐藤** 実施内容はこれでいいか。

**山下** これをやるということは書いていないからいいのではないか。

**直本** 資料2・6ページの実施内容にある「事業提案制度の～尊重しますが、」という文章は削除する。

**恒川** 資料2・6ページの開催頻度にある「事業提案制度を活用した」は削除する。

**区** 既存の取り組みについて地域振興課スポーツ担当に聞いたところ、運動普及員が



### 第3期宮前区区民会議 第10回 活力づくり部会 摘録

いて、月に2回程度ウォーキングイベントをやっているようだ。そこで活用してもらえるとよい。

#### 3) その他

##### (1) 日常的な取り組みにつなげることについて

- 佐藤** 日常的な取り組みが提案の中から消えている。
- 区** ウォーキングガイドの中にスタンプラリーの内容を入れている。イベントについてもイベントだけで終わりではなく、日常的な取り組みにつながるイベントにしていくということから、提案素案の提言①、②に関連するので、2つの提案に絞った。
- 直本** ウォーキングガイドをつくると、区内だけでなく区外の人にも利用してもらうことを考えてしまう。ウォーキングガイドの中でウォーキングガイドの日常的な活用方法について、編集後記などに入れたらどうか。例えば、四季で違いがあるので、日常的にウォーキングガイドを使ってほしいという内容がほしい。家に引きこもっている人がウォーキングガイドを見て、行きたくなると思えるような内容にしたい。
- 佐藤** 資料2・4ページに「スタンプラリーコーナー」とあるが、それ以外の部分で日常的に楽しめる方法を掲載するということか。どこかに四季を楽しめるといったことを付け加えたい。
- 藤田** 「ウォーキングガイドの内容」の「掲載情報」に「季節感を感じられる」といった内容を追加すれば良い。

##### (2) 誤字脱字の修正について

- 山下** 「出展」という文字が間違えている。
- 区** 「出典」に修正する。

#### 4 その他

##### 1) 各種ウォーキングイベントのお知らせ

- ・ 事務局より説明。

##### 2) 次回全体会後の懇親会への参加の呼びかけ

- ・ 山下委員長より参加を呼びかけた。

(以上)